

令和2年2月20日

関係者各位

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター
院長 樋口 進

第3回国際ギャンブル・ネット依存フォーラムの開催中止について

新型コロナウイルス(COVID-19)については日本国内においても感染が確認されています。第3回国際ギャンブル・ネット依存フォーラムの開催に向け、感染症対策等の準備を進めておりましたが、日本全国において複数の感染者が確認される中、医療関係者、一般の方々、ギャンブル・ネット依存のご本人や家族など、幅広い方が参加することを考慮すると、本フォーラムを実施することは困難であるとの結論に達しました。

突然の変更となり皆様には多大なるご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご了承の程よろしくお願い申し上げます。

第3回 国際ギャンブル・ネット依存 フォーラム

The 3rd International Behavioral Addiction Forum (IBAF2020)

日時 ● 2020年3月7日(土) 9:30~17:00

場所 ● はまぎんホール ヴィアマーレ

言語: 日本語、英語 (同時通訳が入ります)

入場無料

事前登録不要

主催: 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
(NHO Kurihama Medical and Addiction Center)

令和元年度依存症対策全国拠点機関設置運営事業

プログラム詳細 <http://www.kurihama-med.jp/>

第3回国際ギャンブル・ネット依存フォーラムのご案内

第1、2回国際ギャンブル・ネット依存フォーラムに続き、第3回国際ギャンブル・ネット依存フォーラム(The 3rd International Behavioral Addiction Forum (IBAF2020))を開催いたします。このフォーラムは、専門家だけでなく、一般の方々、ギャンブル・ネット依存のご本人やご家族など、幅広い方々を対象にしております。本年も海外から著名な治療・研究者を招聘し、講演いただきます。その他、下記のように盛り沢山の内容です。英語・日本語の同時通訳が入りますので、お気軽にご参加ください。

プログラム

1 海外専門家による講演

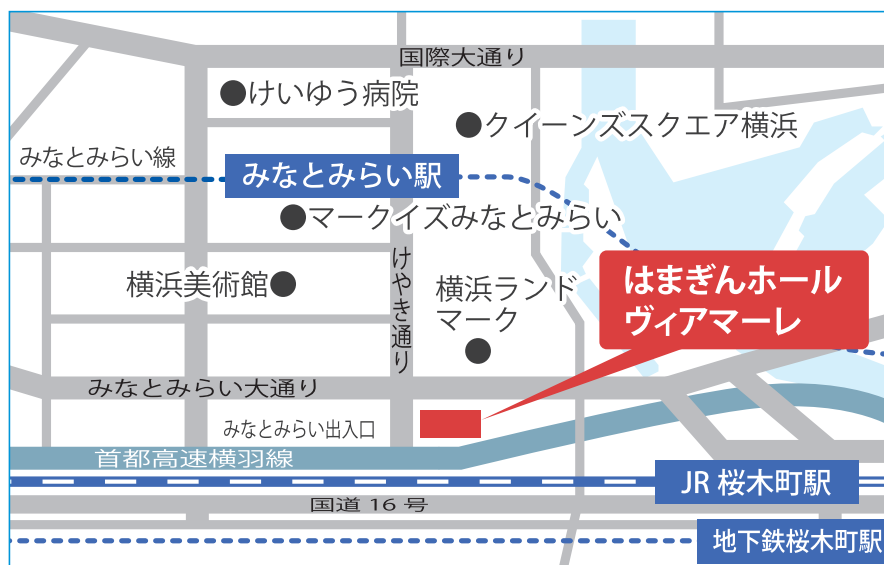
- 1) 「ギャンブルとゲームのコンバージェンス(収束)」
Dr. Max Abbott (Auckland University of Technology, New Zealand)
- 2) 「韓国におけるギャンブル障害の現状と対策」
Dr. Sam-Wook Choi (True Mind Mental Health Clinic, Korea)
- 3) 「中国およびWHOのゲーム障害に対する対応」
Dr. Jiang Long (World Health Organization, Switzerland)

2 ギャンブル障害・ゲーム障害本人・家族の体験談

3 わが国の現状と対策等に関するシンポジウム

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1) 「ギャンブル障害」 | 金城 文 先生 (鳥取大学医学部) |
| | 高橋 英彦 先生 (東京医科歯科大学大学院) |
| | 森田 展彰 先生 (筑波大学医学医療系) |
| 2) 「ゲーム障害・ネット依存」 | 樋口 進 先生 (久里浜医療センター) |
| | 吉田 精次 先生 (藍里病院) |

はまぎんホール ヴィアマーレ アクセス



はまぎんホール ヴィアマーレ

〒220-8611
横浜市西区みなとみらい3丁目1番1号
TEL:045-225-2173
FAX:045-225-2183

■JR・横浜市営地下鉄線
桜木町駅下車 動く歩道利用5分

■みなとみらい線
みなとみらい駅下車
「クイーンズスクエア連絡口」「けやき通り口」より
徒歩7分

※駐車場のご用意がございませんので、ご来場の際は、
公共の交通機関等をご利用くださるよう、お願い申し
あげます。